

『第2次村上市立小・中学校望ましい 教育環境整備計画方針』策定のための 意見を伺う会（第2回）資料

村上市教育委員会

《目次》

1. 『第2次村上市立小・中学校望ましい
教育環境整備計画方針』経過・・・P2
2. 村上市児童・生徒数の推移と今後の推計・・・P3～4
3. 学校施設の老朽化の現状・・・・・・・・・・P5
4. 村上市の学校統合の構想・・・・・・・・・・P6
5. 保護者意見・調査結果・・・・・・・・・・P7～9
6. 学校規模によるメリット・デメリット・・・P10～13
7. 村上市立小・中学校統合計画（案）・・・P14

『第2次村上市立小・中学校望ましい教育環境整備計画方針』

策定スキーム・スケジュール

教育委員会が
諮問

現段階

区分	令和 3~4	令和5年				令和6年		
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
『第2次村上市立 小・中学校望ましい 教育環境整備計画方 針』	答申 (R5.3)	保護者意見 を伺う会 ・Web調査		意見を 伺う会 (第2回)	地域 説明	パブ コメ	● 策定	● 冊子制作

意見を伺う会

【単位：人】

学校区	開催日	参加人数/案内者 (率)
第一中学校区	R5.9.25	14/49(28.6%)
村上東中学校区	R5.10.6	33/57(57.9%)
岩船中学校区	R5.10.2	23/32(71.9%)
荒川中学校区	R5.9.26	19/52(36.5%)
神林中学校区	R5.10.4	17/53(32.1%)
朝日中学校区	R5.9.22	25/72(34.7%)
山北中学校区	R5.10.3	19/29(65.5%)
合計		150/344 (43.6%)

Web調査【単位：件】

対象：全保護者
約2,188世帯
期間：R5.10.2～R5.10.11
回答数：200件(9.1%)

地域説明会

時期：R5.11中旬～

対象：

- ・学校運営協議会委員
- ・区長会代表
- ・まちづくり協議会代表
- ・主任児童委員
- ・各地区青少年健全育成会

パブリックコメント

時期：R6.1中旬～
3週間

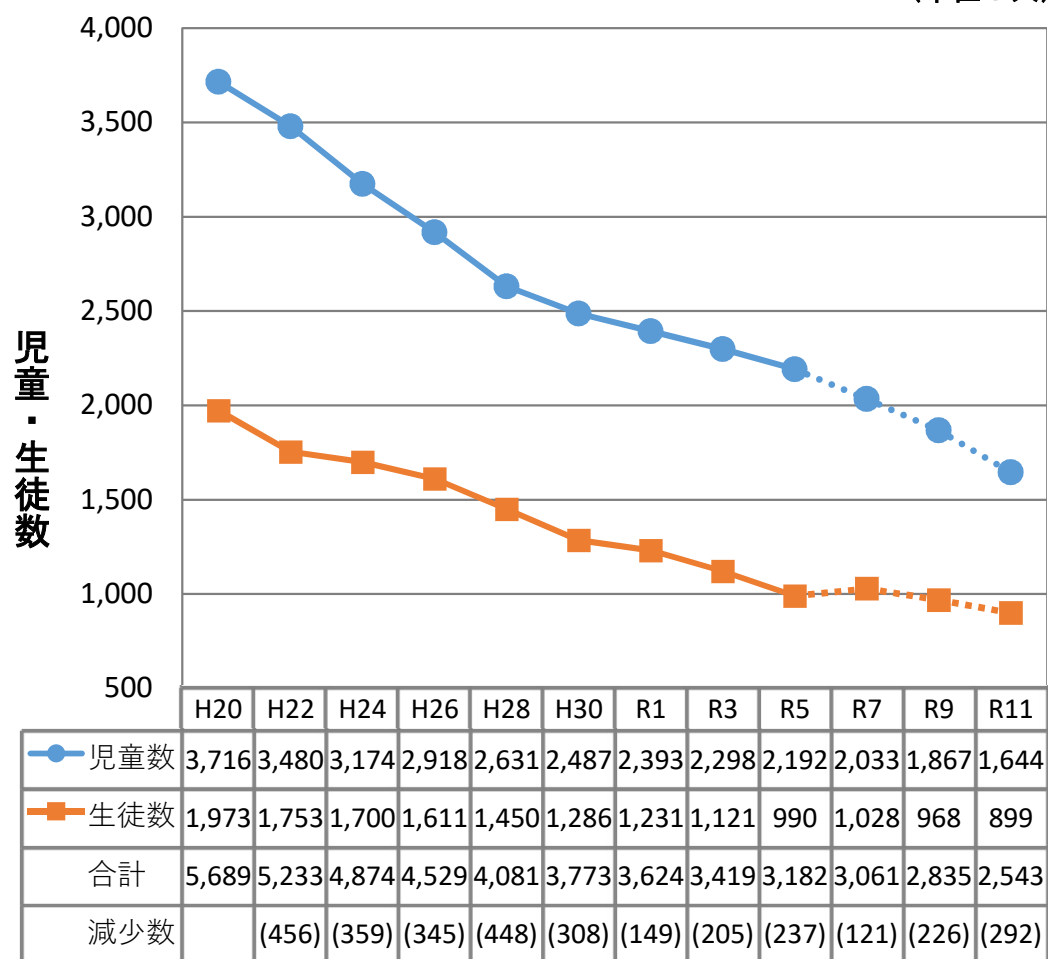
意見を伺う会(第2回)

時期：R5.11.6～11.17

対象：PTA役員各学校とも

20人程度(意見を伺う会同様)
及び保育園14園・村上幼稚園・
村上いずみ園の保護者会の代表者

村上市児童・生徒数の推移と今後の推計 (単位：人)



- ※ 全国的な少子化の傾向と同様に、本市の児童生徒数は年々減少を続け、新村上市誕生当初の平成20年度には5,689人でしたが、平成30年度には3,773人となり、令和5年度には3,182人と、この5年間でさらに591人減少しております（学校基本調査より）。
- ※ また、令和11年度には2,543人(小学校児童1,644人、中学校生徒899人)と推計され、各学校の児童生徒数も年々減少していくと想定されます。
- ※ なお、令和7年度以降の生徒数には村上中等教育学校への入学を考慮しています。
- ※ さらに、小学校児童数の減少は、今後の中学校生徒数の減少に反映されるものと想定されます。

学校の現状と児童・生徒数の推移

【学校規模】

(令和5年5月1日現在)

区分	過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校
	1～5学級	6～11学級	12～18学級	19学級以上
小学校	—	村上 (10) 村上南 (11) 岩船 (6) 瀬波 (8) 山辺里 (6) 金屋 (6) 平林 (6) 神納 (7) 小川 (6) 朝日みどり (6) 朝日さくら (6) さんぼく (6) 計12校 ()内は学級数	保内 (12) 計1校 ()内は学級数	—
中学校	1～2学級	3～11学級	12～18学級	19学級以上
	—	村上第一 (8) 村上東 (6) 岩船 (3) 荒川 (6) 神林 (6) 朝日 (6) 山北 (3) 計7校 ()内は学級数	—	—

※ 学校規模区分の名称は、法令用語ではなく通称です。（文部科学省）

- ※ 令和5年度は、市立小学校13校、中学校7校のうち、全校児童生徒数が100人未満の学校は、小学校2校、中学校2校です。小学校全13校のうち、適正規模校は1校のみで、残り12校は小規模校となっております。
- ※ 中学校では全7校が小規模校となっております。

【児童・生徒数の推移】

【単位：学級数・人】

- ※ 児童・生徒数については、令和5年度は令和5年5月1日学校基本調査に基づく人数、令和6年度以降は令和5年6月15日現在の住民基本台帳データに基づく推定値です。
- ※ 転入、転出、転居等は考慮せず、現在の学区の小・中学校に在籍するものとして作成してあります。また、県立学校(特別支援学校、中等教育学校)への入学についても考慮していません。
- ※ 中学校の生徒数については、村上中等教育学校への入学予定者(毎年50人程度)を勘案すると、合計数から令和6年度は50人、令和7年度は100人、令和8年度以降は150人程度を減じて見込む必要があると予想されます。(令和6年度：1,005人、令和7年度：1,028人、令和8年度：993人、令和11年度：899人)
- ※ 令和6年度以降の中学校の学級数は、村上中等教育学校入学見込み人数を減じて想定した学級数となっております。

* 小学校 (R 5～R 11見込み)

* 中学校 (R 5～R 17見込み)

(令和5年6月15日現在見込み)

【単位：学級数・人】

小学校名		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
1 村上	学級数	10	10	11	11	11	10	9
	児童数	243	243	243	239	236	221	200
2 村上南	学級数	11	11	10	10	11	11	10
	児童数	291	285	257	247	246	233	214
3 岩船	学級数	6	6	6	6	6	6	6
	児童数	128	122	116	107	109	106	97
4 瀬波	学級数	8	8	7	7	7	7	6
	児童数	222	219	206	192	182	173	167
5 山辺里	学級数	6	6	6	6	6	6	6
	児童数	175	180	182	178	173	159	164
6 保内	学級数	12	12	11	10	10	9	8
	児童数	328	317	294	265	247	230	216
7 金屋	学級数	6	6	6	6	6	6	6
	児童数	86	78	80	78	75	71	64
8 平林	学級数	6	6	6	6	6	6	6
	児童数	128	116	112	105	93	88	81
9 神納	学級数	7	8	7	8	8	8	8
	児童数	195	206	194	203	193	189	174
10 小川	学級数	6	6	6	6	5	5	5
	児童数	105	97	87	73	69	58	56
11 朝日みどり	学級数	6	5	5	5	6	6	5
	児童数	61	61	59	57	59	61	53
12 朝日さくら	学級数	6	6	6	6	6	6	6
	児童数	103	99	94	94	86	87	74
13 さんぼく	学級数	6	6	6	6	6	6	6
	児童数	127	124	109	106	99	88	84
計	学級数	96	96	93	93	94	92	87
	児童数	2,192	2,147	2,033	1,944	1,867	1,764	1,644

中学校名		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15	R 16	R 17
1 村上第一	学級数	8	7	8	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6
	生徒数	220	220	264	269	262	248	244	242	215	195	186	191	186
2 村上東	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	生徒数	177	191	192	201	199	211	217	224	214	200	185	166	164
3 岩船	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	生徒数	45	54	65	67	70	66	61	52	50	46	57	56	51
4 荒川	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	4	4
	生徒数	189	208	205	219	219	213	195	176	161	148	146	140	132
5 神林	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4
	生徒数	159	168	181	169	166	155	154	156	151	154	130	126	101
6 朝日	学級数	6	6	6	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3
	生徒数	135	145	154	148	136	122	121	121	118	103	93	88	80
7 山北	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	生徒数	65	69	67	70	66	55	57	58	54	49	41	34	35
計	学級数	38	37	38	36	35	33	33	33	33	33	32	31	29
	生徒数	990	1,055	1,128	1,143	1,118	1,070	1,049	1,029	963	895	838	801	749

学校施設の老朽化の現状

下記のとおり、築年数が30年以上となる建物が多くなってきており、これらの改修にも計画的に取り組む必要があります。

《小学校》

R5.5.1
【人数－○普通級数－○特支級数】()内は築年数

[243-⑩-④]村上小学校(43)
[291-⑪-⑥]村上南小学校(46)
[128-⑥-④]岩船小学校(57)
[222-⑧-④]瀬波小学校(48)
[175-⑥-④]山辺里小学校(12)
[328-⑫-⑥]保内小学校(21)
[86-⑥-②]金屋小学校(46)
[195-⑦-③]神納小学校(31)
[128-⑥-②]平林小学校(21)
[105-⑥-②]小川小学校(42)
[61-⑥-②]朝日みどり小学校(24)
[103-⑥-②]朝日さくら小学校(21)
[125-⑥-④]さんぼく小学校(33)

《学校給食調理場》

村上小調理場(43)
村上南小調理場(46)
岩船学校給食共同調理場(39)
瀬波小調理場(19)
山辺里小調理場(12)
保内学校給食共同調理場(21)
保内学校給食共同調理場(21)
神納小調理場(5)
平林小調理場(21)
村上東学校給食共同調理場(25)
高南学校給食共同調理場(43)
村上東学校給食共同調理場(25)
山北共同調理場(33)

《中学校》

R5.5.1
【人数－○普通級数－○特支級数】()内は築年数

[221-⑧-③]村上第一中学校(52)
[177-⑥-②]村上東中学校(26)
[45-③-②]岩船中学校(45)
[159-⑥-②]神林中学校(23)
[189-⑥-②]荒川中学校(30)
[134-⑥-②]朝日中学校(34)
[65-③-③]山北中学校(36)

《学校給食調理場》

村上第一中調理場(23)
村上東学校給食共同調理場(25)
岩船学校給食共同調理場(39)
神林中調理場(20)
保内学校給食共同調理場(21)
高南学校給食共同調理場(43)
山北共同調理場(33)

村上市立小・中学校
望ましい教育環境整備検討委員会
【答申】

検討委員会からの答申を受け

村上市の学校統合の構想

- ① 学年単学級の小規模校のうち、すべての学年で1学年20人以上を満たすことのできない学校については、隣接校の状況を加味した上で、学校統合に向け動き出します。特に、将来、複式学級の発生が予想される学校については、早急に統合の検討を進めてまいります。
- ② 現在、学年複数学級がある学校においても、将来の小規模化を見通したり、統合校として使用する校舎のキャパシティを考慮したり、学校施設の改修の在り方を踏まえたりしながら、適切な時期に、隣接校との学校統合について検討をしてまいります。
- ③ 学校統合に当たっては、学校給食の提供、スクールバス運行等、児童生徒の安心・安全な学校生活を支える環境整備の目処をしっかりと検討してまいります。
- ④ 旧市町村を超えた学校統合の理解を得ていきます。
- ⑤ これまでの学校統合により、地域に1小学校1中学校しかなく、隣接校が遠方の場合、将来、小中学校の連携により小規模化に対応していくことも必要になると考えます。
- ⑥ 以上のことを保護者及び地域へ丁寧な説明と浸透を図りながら進めてまいります。

●小・中学校とも【1学級20人未満】の解消を優先

●小学校【複式学級】の可能性のある学校については、早急に統合の検討を進める

【小規模解消による利点】

- ・人間関係の固着化の解消
- ・集団生活の中で多様な考えに触れられる
- ・社会性やコミュニケーション能力の向上
- ・集団行動(運動会・様々な活動)の活性
- ・競争心(切磋琢磨)が引き出される
- ・教員数が多いことにより、より専門性、柔軟性のある教育が可能になる
- ・不登校の履修対応
- ・複式学級の解消
- ・中一ギャップの回避

村上市立小・中学校統合計画 (案)

《小学校》

《保育園》	R5【人数－○通常学級数－○特支学級数】 ()内は築年数	【給食】	R8	R9	R10	R11以降	望ましい 学校の規模	
瀬波	[222-⑧-④]瀬波小学校(48)	自校					1学級20人	統 合 中
統合	[291-⑪-⑥]村上南小学校(46)	自校				統合 [414]-通⑭ 特⑦	1学年2学級	
	[243-⑩-④]村上小学校(43)	自校						
山辺里	[175-⑥-④]山辺里小学校(12)	自校					1学級20人	統 合 中
岩船	[128-⑥-④]岩船小学校(57)	岩船共同						
向ヶ丘	[195-⑦-③]神納小学校(31)	自校				統合	1学級20人	
みのり	[128-⑥-②]平林小学校(21)	自校						荒 中
あらかわ	[328-⑫-⑥]保内小学校(21)	保内共同	統合	[322]-通⑫ 特⑥			1学年2学級	
金屋	[86-⑥-②]金屋小学校(46)	保内共同						
舘腰	[105-⑥-②]小川小学校(42)	村上東 共同	統合	[128]-通⑥ 特②				朝 中
高南	[61-⑥-②]朝日みどり小学校(24)	高南共同				統合	1学級20人	
猿沢	[103-⑥-②]朝日さくら小学校(21)	村上東 共同						
山北ぞらいろ	[125-⑥-④]さんぼく小学校(33)	山北共同					小中一貫校	山 中

《中学校》

【人数－○通常学級数－○特支学級数】 ()内は築年数	【給食】	R8	R9	R10	R11以降	望ましい 学校の規模	
R5 [221-⑧-③]村上第一中学校(52)	自校			統合 [378]-通⑫ 特⑤		1学年3学級	統 合 中
[177-⑥-②]村上東中学校(26)	村上東 共同						
[45-③-②]岩船中学校(45)	岩船共同		統合	[218]-通⑦ 特③		1学年2学級	
[159-⑥-②]神林中学校(23)	自校						統 合 中
[189-⑥-②]荒川中学校(30)	保内共同					1学年2学級	
[134-⑥-②]朝日中学校(34)	高南共同					1学級20人	
[65-③-③]山北中学校(36)	山北共同					小中一貫校	山 中

【望ましい学校規模とは】

【小学校】

○1学年2学級の通常学級12学級を目安とします。「地域とのつながり」に重点をおき、1学年1学級20人以上の通常学級6学級以上の規模を基準とします。

【中学校】

○1学年2学級の通常学級6学級以上の規模を基準とします。
○なお、地理的条件、地域とつながりながら1学年2学級が実現できない場合は、1学級20人以上になることを基準とします。

【学校統合の構想】

○学年単学級の小規模校のうち、すべての学年で1学年20人以上を満たすことのできない学校については、隣接校の状況を加味した上で、統合を進めます。特に複式学級の発生が予想される学校については早急に統合を進めます。

○現在、学年複数学級ある学校においても、将来の小規模化を見通したり、統合校として使用する校舎のキャパシティを考慮したり、学校施設改修の在り方を踏まえたりしながら、適切な時期に、隣接校との学校統合を進めます。

○旧市町村を超えた学校の統合や、地域に1小学校1中学校しかなく、隣接校が遠方の場合は、小中連携校としての統合も検討してまいります。

○学校給食調理場については、学校統合とリンクさせながら、廃止や改修を検討します。